

狭山市名誉市民 おのまつしげ 大野松茂さん逝去

狭山市名誉市民の大野松茂さんが、令和8年8月7日に90歳で逝去されました。
謹んで哀悼の意を表するとともに安らかなるご冥福をお祈り申し上げます。

大野さんは、狭山市立中央公民館長を経て、昭和54年4月から埼玉県議会議員を2期、昭和61年5月からは狭山市長を2期務められました。その後、平成8年からは連続4期、13年の長きにわたり衆議院議員を務められ、埼玉県や狭山市はもとより、国政の発展にも大変ご尽力されました。



ご遺族提供

主な経歴

・公選歴

昭和54年4月～昭和61年5月…県議会議員

昭和61年5月～平成6年5月…狭山市長

平成8年10月～平成21年7月…衆議院議員

・賞

平成21年11月…旭日重光章

平成21年11月…狭山市名誉市民

・衆議院議員在任中の役職歴

平成13年1月～平成13年4月…財務大臣政務官

平成14年10月～平成15年9月…文部科学大臣政務官

平成17年9月～平成18年9月…衆議院災害対策特別委員長

平成18年9月～平成19年8月…総務副大臣

平成19年8月～平成20年8月…内閣官房副長官



市長の主な動き

〇8/1・2…狭山市入間川七夕まつり 〇8/7…令和8年熊本地震災害義援金街頭募金活動 〇8/10…辞令交付式、令和8年熊本地震に係る派遣職員激励会、臨時庁議 〇8/19…定例庁議 〇8/26…定例記者会見 〇8/30…坂戸市制施行50周年記念式典 〇8/31～9/30…市議会第3回定例会

地域を思う背中を見つめて

あの日はちょうど今年と同じように暑い夏の日でした。大きな台風が過ぎた早朝、一人で河川敷に行き、被害の確認をしていました。しばらくすると、河川敷をゆっくりと走る自動車に出くわしました。運転されていたのは大野名誉市民です。「実は私も心配だったので見に来たんだ。これから下流も見てくるから」と言い残し、車を走らせて行かれました。

私にとっては、この出来事こそが誠実なお人柄を表すものだと思っています。すでに公職を離れて十数年が経過していましたが、いかなる役

職であろうがなかろうが、誰が見ていようがいまいが、そんなことに関係なく、どんな時も世のため、人のため、多くの人々の幸せを願い、自分が生まれ育った地域とその未来を心配し、一日も欠かすことなく見守り続けた政治家としての集大成を、遠ざかる姿を通じて学ばせていただきました。

松尾芭蕉は「古人の跡を求めず、古人の求めたる所を求めよ」と残しましたが、大野名誉市民の「まず地域まず暮らし」との理念を胸に刻んで市政に一層励む決意です。心からご冥福をお祈りいたします。

狭山市長 小谷野 剛